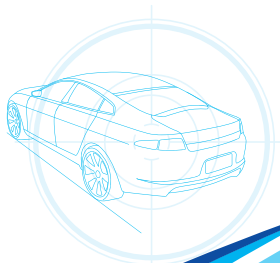
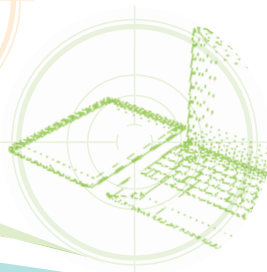
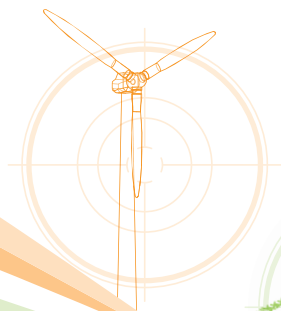




第117期

中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで



NOK株式会社

(証券コード 7240)

Top Message — 株主の皆様へ



代表取締役 社長執行役員 鶴 正雄

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループの第117期上期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の中間報告書をお届けしあげ、当上期の業績につきご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

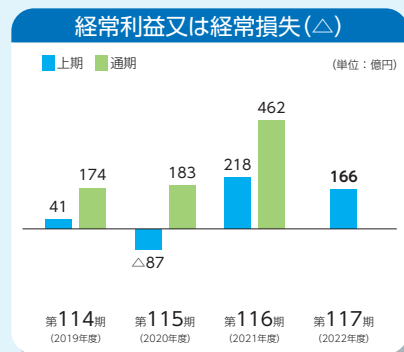
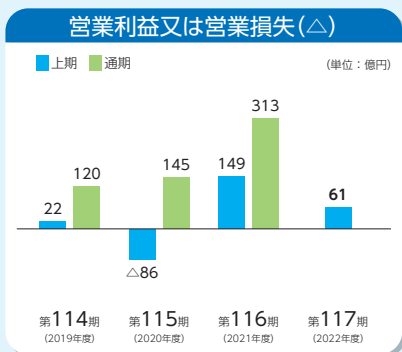
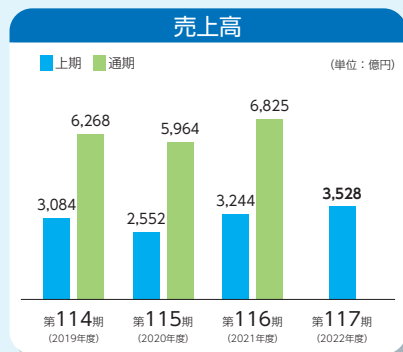
当社グループは、経営の基本として「技術に裏打ちされた独自性ある、かつ社会に有用な商品を世界中で安くつくり適正価格で売る」ことにより高い収益力を持つ強い企業集団をつくりあげることが重要と考え、この考えに基づき事業経営を展開しております。

当上期の当社グループを取り巻く経営環境については、新型コロナウイルス感染拡大による中国でのロックダウンや半導体等の部品供給不足の影響で経済活動が一時収縮するも、段階的に持ち直しの動きがみられました。一方で、ロシア・ウクライナ紛争の長期化等による原材料価格・エネルギー価格の高騰、インフレ加速に対する各国の金融政策等を背景に、円安の進行と景気悪化の懸念が拭い切れない状況となっております。

こうした状況の下、当社グループは将来を見据えて持続的に成長発展していけるよう、各種施策を推進してまいりました。

当上期の連結業績といたしましては、売上高は3,527億6千9百万円（前年同期対比8.8%の増収）、営業利益は61億1千7百万円（前年同期対比58.9%の減益）、経常利益は165億6千1百万円（前年同期対比24.1%の減益）、親会社株主に帰属す

財務ハイライト（連結）



(注) 財務ハイライト（連結）に記載の金額は、表示単位未満を四捨五入しております。

る四半期純利益は101億8千5百万円（前年同期対比21.7%の減益）となりました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、経済活動の回復基調が継続するものとみられますが、世界的な資源・エネルギー価格の高騰やインフレの加速、諸外国の金融政策に伴う急激な円安の進行や景気後退の懸念、ロシア・ウクライナ紛争の動向等を背景に、先行き不透明な状況となっております。

シール事業では、自動車向けについては、中国でのロックダウンや半導体等の部品供給不足の影響を受け、一時的に落ち込んでいた生産が、徐々に回復の兆しを見せております。一般産業機械向けについては、建設機械向けにおいて中国のロックダウンの影響が出ているものの、国内の工作機械・ロボット向け等の需要は堅調に推移しております。しかしながら、世界的な原材料・エネルギー価格の高騰や原材料の供給懸念、地政学的なリスクによる影響等、外部環境の不透明感が強い状況が続くと見込まれているため、これらに対して迅速に対処してまいります。また、今まで以上に安定した品質・安定した製品供給が実現できる生産体制を構築するとともに、自動車の電動化等の中長期的な事業環境の変化に対応するべく、新事業・新商品の開拓にも取り組んでまいります。

電子部品事業では、シール事業と同様に、外部環境の不透明感が強い状況が見込まれております。また、高性能スマートフォンの需要変動、ハードディスクドライブの需要減少、自動車の電動化による業界構造の変化への対応が課題となっ

ております。これらに対処すべく、電動車向け製品のさらなる拡販等、需要変動の少ない事業領域を拡大することで変動の影響を受けにくい体質作りを進めるとともに、世界各地で拡大していく電動車需要に対しては地産地消の考え方をもとにした最適地生産を推進してまいります。

その他事業では、特殊潤滑剤は、自動車の減産等により一時的に販売が落ち込んでおりますが、徐々に回復すると見込んでおります。事務機向け製品は、従来からの事務機市場の成長鈍化に加え、新型コロナウイルスの影響による働き方の変革によりプリンターおよび消耗品の需要減少が継続する懸念があり、適正かつ需要に見合った体質とすることが課題となっております。これらに対応すべく、営業・技術・生産一体となり、生産性の改善や品質・コスト面での競争力向上を進め、経営効率をより一層高めて収益力の向上に取り組んでまいります。

これらの施策を着実に実行して、持続的な成長を目指し、全グループ一丸となって邁進してゆく所存であります。

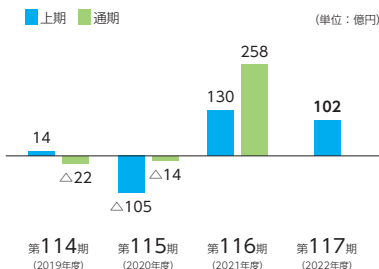
なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき25円とすることといたしました。

以上、当社といたしましては、今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、鋭意努力してまいります所存であります。

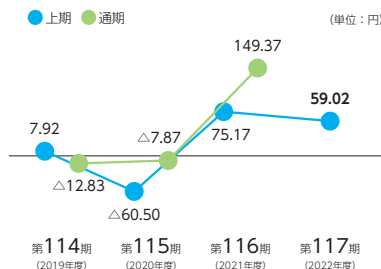
株主の皆様におかれましては、当社グループを取り巻く環境と経営の方向、さらには私どもの決意の程に深いご理解をいただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

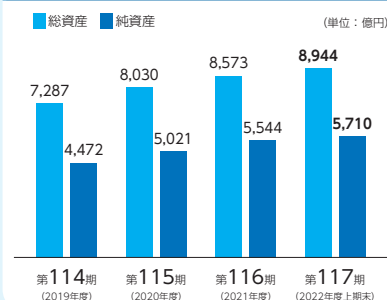
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)



1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失(△)



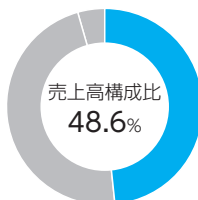
総資産／純資産



Business Overview (consolidated) — 事業別の状況（連結）

シール事業

■ 売上高	1,714億2千3百万円
前年同期対比	3.7% ↗
■ 営業利益	87億1千5百万円
前年同期対比	52.3% ↗



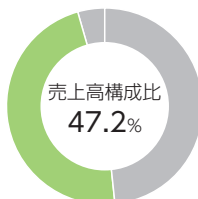
オイルシール

自動車向けについては、当第1四半期における中国のロックダウン、半導体等の部品不足の影響はあったものの、為替変動や原材料価格の高騰に伴う売価転嫁の影響が大きく、販売は増加しました。一般産業機械向けは、建設機械向けにおいて中国のロックダウンの影響があったものの、国内の工作機械・ロボット向け等の需要は堅調に推移しました。また、為替変動や原材料価格の高騰に伴う売価転嫁の影響により、販売は増加しました。

その結果、売上高は1,714億2千3百万円（前年同期対比3.7%の増収）となりました。営業利益は、原材料価格の高騰等により、87億1千5百万円（前年同期対比52.3%の増益）となりました。

電子部品事業

■ 売上高	1,666億2千2百万円
前年同期対比	14.0% ↗
■ 営業損失	34億1千2百万円
前年同期は39億9千5百万円の営業損失	



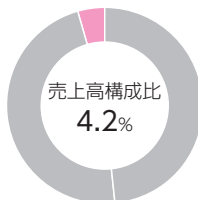
フレキシブルサーキット（FPC）

中国のロックダウン、半導体等の部品不足の影響があったものの、自動車向け、高機能スマートフォン向けの需要は増加しました。ハードディスクドライブ向けの需要は減少しました。全体を通して為替変動の影響が大きく、販売は増加しました。

その結果、売上高は1,666億2千2百万円（前年同期対比14.0%の増収）となりました。営業損失は、人件費の削減、為替の影響により、34億1千2百万円（前年同期は39億9千5百万円の営業損失）となりました。

その他事業

■ 売上高	147億2千4百万円
前年同期対比	13.9% ↗
■ 営業利益	8億2千1百万円
前年同期対比	36.7% ↗



現像ロール・帯電ロール



特殊潤滑剤

特殊潤滑材の需要が減少したものの、事務機向け製品の需要回復、および為替変動の影響が大きく、販売は増加しました。

その結果、売上高は147億2千4百万円（前年同期対比13.9%の増収）となりました。営業利益は、8億2千1百万円（前年同期対比36.7%の増益）となりました。

サステナブル原料 バイオマス材

バイオマス度30%のエチレンプロピレンゴム(EPDM)



カーボンニュートラルの実現に向けた社会的取り組みが注目されている中、機械部品に対しても、自然由来の原料を使用した環境に優しい材料が求められております。そこでNOKでは、バイオマス由来の原料を使用したエチレンプロピレンゴム（EPDM）を開発。独自の配合技術により、従来の汎用EPDMと同等の特性を実現しました。

本開発材料では、使用原料（ポリマー）の製造過程におけるCO₂排出量を、従来の汎用EPDM対比で約40%削減でき、カーボンニュートラルの実現に貢献します。



バイオマス
No.220020

ゴム材料“E3000”は、
バイオマスマーク認定
商品です

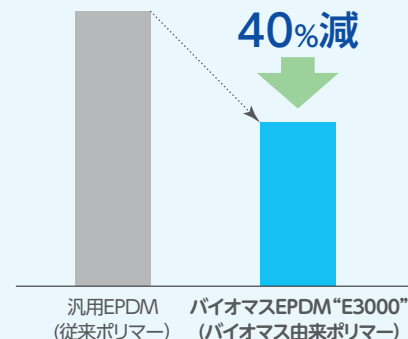
■ EPDM材 比較

	材料特性	汎用EPDM (従来材)	バイオマスEPDM “E3000”
バイオマス度 ^{*1}	(%)	0	30
常態物性	硬さ (Duro-A)	72	70
	引張強さ (MPa)	18.5	17.0
	破断伸び (%)	210	170
空気加熱老化	150℃×70h		
	硬さ変化 (Points)	+1	+2
	引張強さ変化率 (%)	-2	-14
	伸び変化率 (%)	-8	-5
圧縮永久歪 ^{*2}	150℃×70h	18	14
低温性	TR-10	-49	-48

^{*1} バイオマス度=使用したバイオマス重量÷製品重量×100(%) 日本有機資源協会発行 バイオマスマーク認定基準に沿う

^{*2} 圧縮永久歪試験はOリング(太さφ3.10)にて実施

■ CO₂排出量^{*3}の試算



(NOK調べ)

^{*3} 原料製造時のCO₂排出量

Corporate Data — 会社データ

会社概要

(2022年9月30日現在)

商号	NOK株式会社 (英文 NOK CORPORATION)
本社所在地	〒105-8585 東京都港区芝大門1丁目12番15号 電話 03 (3432) 4211 ホームページアドレス https://www.nok.co.jp
設立	1939年12月2日(創立 1941年7月9日)
資本金	23,335百万円
従業員数	3,488名(当社グループの従業員数: 38,546名)
主要な事業所	

支店

仙台、水戸、宇都宮、熊谷、東京、
東京電子、松本、多摩、神奈川、富士、
浜松、安城第一、安城第二、名古屋、
大阪第一、大阪第二、広島、福岡

事業場

福島、二本松、北茨城、つくば、静岡、
東海、鳥取、熊本

研究所

湘南開発センター(藤沢)

取締役・監査役および執行役員

(2022年10月1日現在)

取締役

取締役会長	※ 鶴 正 登
取締役社長執行役員	※ 鶴 正 雄
取締役副社長執行役員	※ 飯田 二郎
取締役副社長執行役員	※ 黒木 安彦
取締役専務執行役員	渡邊 哲
取締役専務執行役員	折田 純一
取締役(社外)	法眼 健作
取締役(社外)	藤岡 誠
取締役(社外)	島田 直樹

(注)「※」の各氏は代表取締役であります。

監査役

常勤監査役	前原 望
常勤監査役	渡辺 英樹
監査役(社外)	小林 修
監査役(社外)	小川 秀樹
監査役(社外)	梶谷 篤

執行役員

専務執行役員	菅谷 良裕	執行役員	池崎 雅人
常務執行役員	矢野 武臣	執行役員	牧野 利英
常務執行役員	中村 哲也	執行役員	大宅 健司
常務執行役員	高橋 則幸	執行役員	佐藤 祐樹
常務執行役員	山崎 幸夫	執行役員	谷山 英治
執行役員	小林 正信	執行役員	今村 裕之
執行役員	鎌田 浩	執行役員	鶴田 修朗
執行役員	齋藤 慶胤	執行役員	田中 利之
執行役員	石田 光弘	執行役員	古川 裕子

主要なグループ会社

シール事業

【主要製品】
オイルシール
Oリング
防振ゴム
樹脂加工品
ガasket
化学合成品
メカニカルシール

ユニマテック株式会社(茨城県北茨城市)
NOKエラストマー株式会社(福岡県嘉麻市)
NOKフガクエンジニアリング株式会社(静岡県菊川市)
佐賀NOK株式会社(佐賀県嬉野市)
タイNOK Co.,Ltd.(タイ チョンブリー県)
無錫NOKフロイデンベルグCo.,Ltd.(中国 江蘇省無錫市)
NOKアジア Co.,Pte.Ltd.(シンガポール)
関西NOK販売株式会社(大阪府吹田市)
NOKフロイデンベルググループセールスチャイナCo.,Ltd.(中国 上海市)

電子部品事業

【主要製品】
フレキシブルサーキット
プレジジョンコンポーネント

日本メクトロン株式会社(東京都港区)
メクテックCorp. 台湾(台湾 高雄市)
メクテックマニファクチャリングCorp.タイLtd.(タイ アユタヤ県)
メクテックマニファクチャリングCorp.珠海Ltd.(中国 広東省珠海市)
メクテックマニファクチャリングCorp.蘇州(中国 江蘇省蘇州市)
メクテックマニファクチャリングCorp.ベトナムLtd.(ベトナム フンイエン省)
メクテックプレジジョンコンポーネント タイLtd.(タイ アユタヤ県)
メクテックCorp. 香港Ltd.(中国 香港)

その他事業

【主要製品】
事務機用ローラー製品
特殊潤滑剤
その他

シンジータック株式会社(神奈川県横須賀市)
NOKクリューバー株式会社(茨城県北茨城市)

Stock Information — 株式の状況

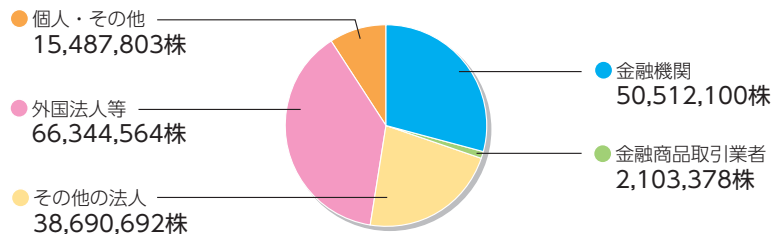
株式の状況

(2022年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 600,000,000株
- 発行済株式の総数 173,138,537株
- 株主数 13,193名
- 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
フロイデンベルグ・エス・エー	43,457	25.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	13,255	7.7
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	9,265	5.4
正和地所株式会社	8,773	5.1
第一生命保険株式会社	8,000	4.6
トヨタ自動車株式会社	6,809	3.9
株式会社三井住友銀行	4,270	2.5
NOK持株会	3,337	1.9
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	3,236	1.9
損害保険ジャパン株式会社	3,036	1.8

● 所有者別株式数



Shareholder Information — 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.nok.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によっ て電子公告による公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載して行います)
単 元 株 式 数	100株
上 場 取 引 所	東京証券取引所 プライム市場 略称：NOK（コード7240）

ホームページのご案内

当社の決算情報をはじめ、当社をより理解していただくための
さまざまな情報を掲載しております。

<https://www.nok.co.jp/ir/>

NOK IR

検索

トップページ



IR 情報



【お知らせ】

1. 住所変更等のお手続きについて

- (1) 株主様の住所変更等各種お手続きにつきましては、
株主様が口座を開設された口座管理機関（証券会社
等）で承ります。お手続きの詳細につきましては、
お取引のある証券会社等にお問い合わせください
（株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご
注意ください）。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きに
つきましては、口座管理機関である三菱UFJ信託銀行
にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行
全国各支店にてもお取次ぎいたします。

2. 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行
本店でお支払いいたします。

3. 株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務
関係手続きで必要となります。このため、株主様からマ
イナンバーをお届出いただく必要がございます（問い
合わせ先は「1. 住所変更等のお手続きについて」と同
様になります）。

単元未満株式の買取請求のご案内

～単元未満株式（100株未満）をお持ちの場合～

株主様が所有されている単元未満株式（100株未満の株式）
につきましては、証券市場での売買ができない等制約がござい
ます。単元未満株式は、当社に対し時価で売却（買取請求）で
きますので、ご希望の株主様は次の通りお問い合わせください。

- (1) 証券会社等の口座に記録された単元未満株式の買取請求
手続き・手数料等の詳細につきましては、お取引のある
証券会社等にお問い合わせください。
- (2) 特別口座に記録された単元未満株式は、当社所定の手続
きにより時価で売却（手数料無料）することができます。
お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問
い合わせください。

NOK CORPORATION



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。